

疾患別診療計画書



乳癌で手術を受ける方へ

項目		手術日 術前	手術日 術後	術後第1病日	術後第2病日～	退院日	
準備するもの	書類	手術承諾書を記載し看護師に渡して下さい。				退院証明書をお受け取り下さい。	
	物品	胸帯を1～2枚準備して下さい。 こちらは、1階の売店で販売しております。 手術時に足にはく、弾性ストッキングは、看護師がサイズを計測し、準備致します。					
治療	処置	手術	入院時にネームバンドを手術をしない側の手に付けていただきます。 手術側の確認(左・右)をします。	帰室後、酸素を4時間行います。 創部に排液管が入ってます。	歩行後弾性ストッキングを脱ぎます。	手術後()日目に創部の管を抜きます。	透明な絆創膏を貼ったまま退院します。
		清潔	手術する前にシャワー浴をして下さい。	傷を透明な絆創膏で覆います。	体を拭いてパジャマに着替えます。	傷を濡らさないようにして、下半身のシャワーを浴びることが出来ます。	入浴はせず次回外来までは、シャワー浴として下さい。
	薬剤	内服		眠れない方は看護師にお申し出下さい。			
	点滴		食事が出来ないため、点滴を施行致します。	点滴終了後点滴を抜去いたします。			
	抗生剤			手術室で、1回抗生物質の点滴を施行します。			
	鎮静・鎮痛剤	眠れない時は眼剤をお渡します。			術後痛みがあるのは当然です。術後の痛みは遠慮なく鎮痛剤を用いて、離床に励みましょう。それでも痛みのある場合は看護師にお伝えください。	創痛がひどい場合は、退院処方として痛み止めを処方いたします。担当医師にご相談下さい。	
検査	手術前日または手術当日にRI検査があります。			採血を行います。(足から行います。)			
食事		症状にあわせて食事を出します。 ご希望がございましたら気軽にお伝え下さい。 21時以降は、食べ物をお口にしないで下さい。	飲水は3時まで可能です。それ以降は、飲んだり食べたりできません 帰室後6時間で飲水可能となります。	朝から流動食をお出しします。 昼から常食になります。 利き手が固定される場合はスプーンやフォークなどがあると便利です。		特に制限は有りません。	
安静度	特に制限はありません。		手術後はベッド上安静ですが、寝返りは出来ます。	朝から徐々に歩いていただけます。	特に制限ありません。		
リハビリ	術後リハビリのパンフレットをお受け取り下さい。		手術直後から手指・手首・肘の屈伸運動を始めます。手術直後から下肢の運動し筋力を低下させないようにしましょう。	第()日より、運動範囲を広げましょう。			
排泄	室内トイレをご利用下さい。		排尿は管が入っているためベッドから降りる必要はありません。大便是ベッド上で排泄していただきます。(6時間たてばトイレに歩けます。)	午前中に膀胱に入っている管を抜きます。以降は室内トイレをご利用下さい。			
説明・注意事項		・看護師が入院生活、手術に関する説明を致します。 ・医師により手術についての説明を致します。 ・薬剤等に関するアレルギーのある方はお申し出下さい	手術が終わった時点でご家族に手術についての説明を行います。	・手術後は創部に管が入り、片側の腕が固定されてしまうので身体のバランスをくずしやすいため注意しましょう。 ・入院中、薬剤師による薬の説明があります。 ・リンパ節郭清術を受けられた方にリンパ浮腫予防のパンフレットをお渡しし、リンパ浮腫予防についての説明を行います。 ・退院後のリハビリの説明を行います。必要な方には補正下着の説明を行います。 ・御質問があれば遠慮なくおっしゃってください。			

- 【退院について】退院は、術後()日目に可能となります。
- ・傷は、透明な絆創膏を貼ったまま退院します。(外来受診時にはがします。)糸を埋め込むように縫っていますので抜糸は不要です。
 - ・手術した側の腕は、1～2年は負担を掛けないようにし、重いものを持ちたり傷を作らないよう注意して下さい。
 - ・洗面・髪ブラッシングなどの日常生活の動作は支障ありません。手術した側の腕を使い、動かせる範囲を広げていきましょう。
 - ・点滴や血圧測定は、手術していない側の腕で行うようにし、圧迫しないよう注意しましょう。
 - ・傷が赤くなったり、腫れたりした場合は皮下に液体が貯まってそうなる時は外来受診して下さい。
 - ・次回の外来までは、入浴はせずにシャワー浴として下さい。
 - ・車の運転に関しては外来受診時に主治医に確認して下さい。